



鹿島中学校だより **長月**
和・輪・我 **9月**
平成22年9月発行
薩摩川内市立鹿島中学校

鹿島の心「オニハ」を受け継ぐ

校長 河野通芳

猛暑に振り回された今年の気候も、9月の半ばになるとさすがに朝夕めっきり涼しくなりました。このまま秋晴れの中で合同運動会が盛会のうちに開催できればと願っています。

鹿島中では、体育大会の中で民俗舞踊「オニハ」を披露しています。今年も体育大会を前に、小村ハヤ子さんと中野ひとみさんに御指導いただきながら練習を重ねています。

鹿島郷土誌によると、オニハの由来は不詳ということですが、古くから慶事や祭りなどで踊られ、伝承されてきたものであることは間違いないと思います。

下甌の各地にも同じような民俗舞踊が伝えられています。青瀬の「ヤンハ」長浜の「出羽」手打の「港ヤンハ」瀬々野浦の「シアノーノー」と各地域で独自の踊りが伝承されてきました。



昨年度のオニハ踊りの様子

下甌各地の踊りは、基本的には戦場での舞で、伝承してきたのも青年・壮年の踊り手によります。それらはどれも勇壮な振り付けであるのに対し、オニハは手踊りの要素もあり、優雅で気品ある振り付けです。鹿島村時代の記念式典のたびに、女性の踊り手で舞われたのも頷けます。下甌各地域の踊りは、今でも地域の文化祭で、大人の踊り手が舞われ伝承されていますが、鹿島では公式の場としては、運動会の中学生在が踊るこの機会だけです。民俗舞踊の伝承という意味では、少し寂しい気もしますが、それだけに中学生の役割は大切です。

古の鹿島の人たちが、うれしいことめでたいことがあるたびに踊ったオニハの心を受け継ぎ、たとえ鹿島生まれ、鹿島育ちでなくても、「何百年ものオニハの伝統を引き継ぐのは自分たちなんだ」という誇りをもって「鹿島人」になりきり、がんばって踊ってもらいたいと思います。

秋の交通安全週間

21～30日は秋の全国交通安全週間です。一旦停止すべき場所や自転車の乗り方等、この機会に家庭で考えましょう。

おめでとう ~市作文審査~

2年孟志君が、市特選を受賞。作品は裏面に掲載。

10月の生活努力目標

「自分の考えをまとめ積極的に表現する」
一事徹底事項 ◎ **大きな声で返事をしよう**
◎ **生活の記録を充実しよう**

恐竜化石コーナー

ミニ博物館作り

9月4日(日)、熊本大学の小松先生と学生を講師に鹿島支所でミニ博物館作りが行われました。

まず、国立科学博物館から借りた本物の化石から、自分が紹介したい化石を選びます。そして、その化石の情報を大学生にアドバイスをもらいながらパソコンでまとめます。それを印刷して台紙に貼ります。最後に、選んだ化石・説明書・タイトルをガラスケースに並べて完成です。

もちろん、全員初めての経験でしたが、小松先生をはじめ大学生の適切な指導で完成させることができました。この体験、この鹿島でしか味わうことができない、貴重な体験でした。子どもたちの心に、いつまでも残ることでしょう。



小中一貫コーナー

小中地域合同体育大会に向けて

9月23日は鹿島小・中・地域の合同運動会です。それに向けて、ただいま特訓中です。

小学生は中学校に来て、合同種目の「あなたもタモでナイスキャッチ」や開閉会式等の練習を行っています。額に汗を書きながら練習する毎に、ぐんぐんうまくなっています。どうか当日を楽しみにお待ちください。



小中合同研究授業・授業研究会

9月13日に鹿島小山下教頭先生が研究授業を行いました。高学年の算数でした。一人で二つの学年を指導する複式の授業です。

授業後には小中の教諭が意見を交換し、よりよい授業について語り合いました。他の学校ではなかなかできない貴重な研究会となりました。



10月の行事

※現時点での予定です。

- 1日(金)：修学旅行最終日(F2 便長浜着)
 - 4日(月)：ALT 来校,全校朝会(智哉君),文化祭企画
 - 10日(日)：第6回薩摩川内市民運動会
 - 14日(木)：家庭学習の日,司書補来校,生徒会役員改選
 - 15日(金)：甌島区域中学校弁論・英語発表大会(全生徒参加,お弁当持参)
 - 18日(月)：生徒朝会(希望君)
 - 20日(水)：中間テスト(~21日),避難訓練(火災)
 - 22日(金)：第3回薩摩川内元気塾(講師：前村卓巨先生)
 - 25日(月)：全校朝会(麻琴さん)
 - 26日(火)：納金日
 - 28日(木)：司書補来校,研究授業(3年生)
- ※ 日程の変更：11月3日の振替休日に変更になります。
11月4日(木)→11月5日(金)

第3回元気塾開催

9月8日(水)、MBCの亀田晃一気象予報士を講師に招いて元気塾が行われました。現役の気象予報士の強みを活かした、「あなたもお天気キャスター」や「雲を作ろう」等、生徒の関心を高める内容でした。また、地球温暖化についても身近な例を取り上げ、生徒に切実感をもたせていました。講演後は、生徒と楽しく食事をしたり卓球をしたりして楽しんでいました。この様子は本校のホームページ(<http://www.edu.satsumasendai.jp/kashima-j/>)とMBCのHPのスタッフは見た(<http://blog.mbc.co.jp/staff/>)でご覧になれます。



校内弁論大会

9月7日(火)、恒例の校内弁論大会が行われました。夏休みに仕上げた弁論を13名が発表しました。それぞれ、自分の身近な話題から考えたことを、堂々と分かりやすく発表することができました。その結果、最優秀賞には希望君、優秀賞には孟志君が選ばれました。二人は15日海陽中学校で行われる甌島区域中学校弁論大会で学校代表として発表します。英語発表は3年生麻矢さん、2年生は今後決定していきます。



ありがとう

9月12日の奉仕作業ありがとうございました。学校が大変きれいになりました。18日の家庭教育学級では陶芸教室が行われました。参加頂いた皆さん、本当にありがとうございました。



第五十三回県児童生徒作文コンクール市審査会特選受賞作品

「だれにでも優しく」

鹿島中学校二年

梶原

孟志^{たけし}

「おまえといってもおもしろくないから遊ばない。」この言葉を思い出す度に怒りと悲しみがこみ上げてきた。僕は小学校に入学した当時、毎日のようにいじめられていた。気が弱く、特に目立ったこともなかった。格好のいじめの的だったと思う。初めは、たまに変な名前と呼ばれたり、消しゴムをかくされたりされるぐらいの軽い嫌がらせだった。それが次第に髪を引っ張られたり、悪口を言われたりするひどいじめにエスカレートしていった。

「絶対に許さない。必ずやり返してやる。」

いじめがひどくなっていくにつれ、僕の心は冷たく氷のようになってしまっていた。そのことばかり考えるようになっていたと思う。

そんな僕の考えが大きく変わるきっかけとなったのは三つ年上の留学生との出会いだった。鹿島にはウミネコ留学制度というものがある。いわゆる山村留学で、他県から来た子どもたちが里親さんの元で生活するのだ。その人も、ウミネコ留学生として鹿島に来た人だった。

小学校二年の春、その年もたくさん留学生がやって来た。自己紹介を一人ずつ聞いていく中で、一番印象に残っているのがその先輩だった。だが、その時は怖そうな印象ばかりだった。「福岡から来た『かつなり』っていうと。よろしくな。」

と、いきなり知らない方言を使って自己紹介をしたのだ。それは、僕にとっては怒っているように聞こえた。どうせこの先輩にもいじめられるんだろかなとぼくは悪いことばかりを考え、また始まる新学期に希望を持てずにいた。

その日の昼休みも、遊びに混ぜてもらおうと四年生の人に必死に頼んでみた。だが、その人たちは走って逃げて行ってしまった。涙がこぼれ落ちそうになるのを一生懸命こらえて教室へ戻り、一人寂しく本を読んでいた。なぜ、僕にだけこんなに冷たいんだらうかと考えていると、その先輩が突然ドシドシと大きな足音を立てて教室へ入ってきた。何か、悪口でも言いに来た

のか。嫌な方向に考え、ビクビクしていると、思ってもみないことを言われた。

「いっしょに遊ばん。」

「えっ……。あつ、はい。」

返事をするのに、そして何よりも先輩の言った言葉をしっかりと理解するのに数秒必要だった。本当に信じられないことだった。遊ぶ相手がいなかった僕にとって、年上の人が誘ってくれるということはどんなことにも勝る喜びだった。夢中で遊んで時間が経つのも忘れていた。こんなに短い昼休みは久しぶりだった。一日だけでもうれしかったけれど、先輩は次の日から毎日のように僕を迎えに来てくれた。サッカーや野球を他の上級生が横でしているにもかかわらず、その中に入らずに鬼ごっこやかくれんぼなど、レベルを僕に合わせて遊んでくれるのだ。それだけではない。いじめられている僕の姿を見つけると、

「何いじめているとお。」

とかけて来てくれて何度も追い返してくれた。そのおかげでいじめは徐々になくなり、心の闇も消えていった。その時は、すごいなとかっこいいななど尊敬のまなざしでしか見ていなかった。しかし、今、考えてみると先輩は他の人の視線に立って考えることができていたから、弱者を守ってあげられる優しい心が持てたのだと思う。

僕は今、中学二年生である。先輩と呼ばれる立場になってますますあの先輩の素晴らしさが分かってきた。僕も後輩の視線に立って行動できるような先輩になりたい。それが、あの先輩への恩返しに見なるような気がする。

留学生との出会いによっていじめを克服し、心を大きく成長させた筆者。いじめという暗い体験を前向きに克服していく様子が、刻銘に生き生きと描かれている点がすばらしい作品です。